



委員会にて

医療従事者をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいただいている大勢の皆様、心から感謝申し上げます。山下浩昭は、いのちと暮らしを守るため、ワクチン接種・医療体制の拡充や防災・減災対策の促進はもちろん、打撃を受けた大阪経済の回復へ、「大阪・関西万博」の機運醸成や中小企業・小規模事業者支援等に全力で取り組んで参ります。

## 令和4年2月定例会 教育常任委員会での質問

令和4年3月14日、教育常任委員会にて、以下の内容で質疑を行いました。

### 1. 府立特別支援学校の教室不足解消へ、次年度調査検討開始!

「全国の支援学校の教室不足調査」において、大阪府は528教室と、全国で最も教室数が不足している状況。判明した結果をどのように受け止め、今後、このような状況を、どう解消していくのか?の問いに、**教室数が不足している等の状況に対する改善方策を次年度の予算要求に反映できるよう、来年度中に調査検討の結果を取りまとめたい。**との回答。府立特別支援学校における早期の教育環境改善を要望すると共に、抜本的な方策として、(新築・移転建替え等の)学校整備を要望。



▲ 浮島衆議院議員と特別支援学校の教室不足状況を視察

### 2. 「インターネット上の適正利用にむけた教育」の充実を強く要望!

「パソコンや携帯で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる」の項目について、令和元年度と令和2年度を比較すると、小学校においては約32%の増加で低年齢化の傾向。また、4月から成年となる18歳・19歳については、少年法の改正により、いわゆる厳罰化が図られる。ネットを利用することにより、課題が見えにくくなることも危惧しています。子ども達がインターネット上のトラブルに巻き込まれないため、教育庁としてどのような取り組みを行うのか?との問いに、**府教育庁としては、教員研修や先進事例の共有などを通じて、各校の情報社会における個人の責任と情報モラルの指導に向けた取り組みを支援する。**との回答。



### 3. 府立高校における清潔で快適な学習環境の整備を促進!

府立学校の老朽化対策は、おおむね70年もたせるという整備方針に基づき、改築・改修することとされているが、躯体の長寿命化を図る改修等に限り、多くの府立高校においては、清潔で快適な学習環境が実現されているとは言い難い状況である。「府立学校施設長寿命化整備方針」で改築・改修する施設の対象外であっても、別途、計画的に改修を実施すべき。日常的な補修や快適な学習環境の整備につながる考え方を聞いたところ、**計画的な予防保全とは別に、児童生徒の安全を最優先に施設の劣化が特に激しい場合は、緊急対応を実施。施設保全の際には、快適な学習環境を整える内装の改修も同時に行う検討をし、児童生徒の学習環境の整備に努める。**との回答。

### 4. 府立高校における医療的ケアの必要な生徒に向け、集中的サポート体制を要望!

全ての府立高校に医療的ケアの必要な生徒が入学する可能性があり、そのような生徒が入学した際には、入学当初の期間だけでも、例えば、センター的機能をもつ支援学校からのチームでの派遣や、外部人材を活用した集中的サポート体制が必要と考えるが如何か?との問いに、**今後、インクルーシブ教育がさらに進展する中、全ての医療的ケアの必要な生徒が卒業までの間、安心して学校生活を送れるよう、入学時から高校と支援学校がより密接に連携し、必要な支援体制を構築する。**との回答。

### 5. 府立工業系高校の教育内容充実と魅力発信の取り組みを推進!

本年4月に大阪市の高校が府へ移管されることよって、現在9校ある府立の工業系高校が14校となり、府の工業教育は、新たな出発点を迎える。今後、工業系高校の教育内容をどのように充実させていくのか?また、多くの方々に工業系高校の取り組みを知ってもらうために、どのように魅力を発信し、将来のものづくり人材の育成につなげていくのか?との問いに、**一人でも多くの方々に、工業系高校への興味・関心を持っていただけるよう、外部有識者等のご意見もいただきながら、さらなる魅力づくりに取り組み、大阪の産業人材の育成に努める。**との回答。

その他▶ 少数散在化している日本語指導を必要としている児童生徒に向け、ICTを活用した日本語指導の支援充実を要望。

委員会の模様は、大阪府議会ホームページにて ▶ <http://www.gikai-chukei.jp/>



## 買い物弱者へ支援の手を!

昨年12月、東大阪市役所北側に、市内循環バスの停留所が新設され、バスで大型スーパーを経由して買い物をすることが可能になった。地域内で多くの住民を抱える府営東大阪春宮住宅住民の高齢化が進む一方で、昨年3月末には近隣の大型商業施設が閉店。大勢の方が、徒歩で30分以上かかるスーパーまで歩くか自転車通っていた。山下浩昭は、市議会公明党と連携し、同住宅で暮らす買い物弱者と、その周辺住民の支援を盛り込んだ要望書を作成。同年7月に市議会公明党として野田市長に提出し、実を結んだ。



▲ 新設のバス停にて

## みなさまの声をカタチに!

また、同住宅自治会が誘致活動を進めていた敷地内への移動販売についても、山下浩昭による昨年5月の府議会や、市議会公明党・他会派による市議会質疑をはじめ、自治会と共に交渉を重ねた結果、本年1月から開始され、住民の方々に喜んでいただいている。これからも公明党のネットワークを通じて、さらなる地域生活支援の充実を尽くします。

## 通学路の交通安全対策を推進!

通行量の多い国道旧170号を横断する通学路の安全対策として、本年2月、孔舎衝(くさか)小学校前の減速対策について、交差点の前後に「速度落せ」の路面表示を施工。これからも、交通安全対策に取り組めます。



▲ 改修前

▲ 改修後

